

2026 年 10 月 7 日
富士スピードウェイホテル

「富士スピードウェイホテル」
4 周年記念オリジナルシングルモルトウイスキー「4563」
10 月 7 日から限定 60 本で発売



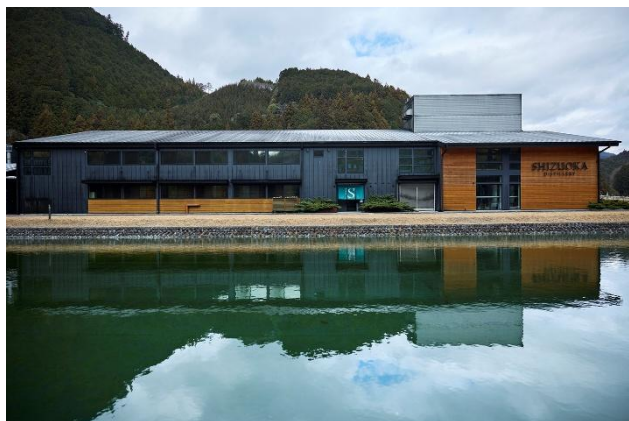
ハイアットブランド「アンバウンド コレクション by Hyatt」として、「静と動が共存」する唯一無二の環境のなか、お客様と共にここだけのストーリーを紡いでいる「[富士スピードウェイホテル](#)」（静岡県小山町、総支配人：吉川源太）は、2026 年 10 月 7 日に迎える開業 4 周年を記念し、オリジナルウイスキー「4563」を限定 60 本で販売いたします。

本商品は、静岡市のガイアフロー静岡蒸溜所にて 2023 年より熟成されたシングルモルトウイスキーを、富士スピードウェイホテルのためだけにボトリングした特別な一本です。富士山麓の自然、サーキットの躍動感、そしてホテルで過ごす上質な時間。そのすべてをボトルに閉じ込めました。

「オクシズ」の豊かな自然が育んだプライベートカスク

富士スピードウェイホテルは、開業以来、地域とのつながりを大切にしながら、静岡ならではの魅力を発信してまいりました。その一環として、静岡の自然と共存したものづくりの精神を体現するガイアフロー静岡蒸溜所とコラボレーションを行い、「ブレンデッド M 富士スピードウェイホテルオリジナルラベル」をはじめ、深い森と清らかな水に恵まれた「オクシズ」で丁寧に熟成された上質なウイスキーをお客様へお届けしてきました。

「4563」に使用した原酒は、ガイアフロー静岡蒸溜所を象徴する薪直火蒸留機「ポットスティル W」で蒸留されたノンピートタイプのシングルモルトです。薪の炎による直火蒸留によって生まれる豊かなコクと力強さ、そして心地よい香ばしさが特徴です。また、高い湿度と寒暖差のある静岡市・オクシズの自然環境のもとで熟成を重ねることで、複雑で奥行きのある味わいに仕上がりました。富士の麓の自然資源と静岡の風土が育んだ、土地の個性を感じられる一本です。



ガイアフロー静岡蒸溜所外観



自然豊かなオクシズに佇む貯蔵庫



開業直後から熟成が始まったオクタブ樽



独特な気候が通常よりも熟成を早める貯蔵庫

富士スピードウェイの固有値「4563」

ウイスキーの名に冠した「4563」は、富士スピードウェイの本コースの全長 4,563 メートルに由来し、特別な意味を持つ数字です。サーキットが持つリズム・余韻・高揚感とモータースポーツの息遣い。その一瞬一瞬の情景を”蒸留”し、一つのボトルへ閉じ込めました。富士山麓の清らかな水、豊かな自然環境、そしてモータースポーツ文化。この土地ならではの個性と物語を映し出したウイスキーが「4563」です。



モータースポーツを想起させる特製ボックス

「4563」に秘められた想いは、ボックスのデザインにも込められています。外側はホテルのブランドカラーである「富士スピードウェイブルー」を基調に、内側には「富士スピードウェイコッパー」を採用。内外装ともにモータースポーツの DNA を感じさせるカーボン調のパターンをあしらいました。光の当たり方によって表情を変える上質な仕上がりですが、部屋に置いてあるだけでもその存在感を感じさせます。本商品のためだけに特注した、唯一無二のオリジナルデザインです。

蒸溜所とホテル、それぞれが『4563』に込めた想い

ガイアフロア静岡蒸溜所の代表取締役、中村大航氏は次のようにコメントしています。「1,000 分の 1 秒を競うモータースポーツと、年単位の時をかけて育まれるウイスキー造り。一見対照的な両者に共通するのは、“ロマン”という魅力です。静岡蒸溜所では、人の手で生み出した原酒をオクシズの自然へ託し、時とともに育てています。そこには熱い想いと予期せぬ過程、そして計算の及ばない味わいが待っています。レースがチェッカーフラッグを受けるまで結果が分からないように、『4563』にもまた、そうした挑戦と期待、そして時を重ねた先にだけ生まれる物語が込められています。」

また、富士スピードウェイホテル総支配人の吉川源太は次のように述べています。「開業 4 周年という節目に、日頃のご愛顧への感謝を込めて『4563』をご用意いたしました。このウイスキーには、富士山麓の自然やモータースポーツの躍動感、そしてこの場所ならではの時間が表現されています。グラスを片手に、富士スピードウェイホテルならではの物語を感じていただけたら幸いです。」



(左) ガイアフロア株式会社代表取締役社長：中村大航氏
(右) 富士スピードウェイホテル総支配人：吉川源太

富士スピードウェイホテル オリジナルシングルモルトウイスキー「4563」概要

販売開始 2026 年 10 月 7 日

販売場所 富士スピードウェイホテル 「TROFEO ラウンジ」

価 格 66,000 円 (税込)

内 容 量 500ml (アルコール分 46%)

樽 種 オクタブ

原材料名 モルト (国内製造)

蒸 留 日 2023 年 7 月 6 日

瓶 詰 日 2026 年 7 月 8 日

- 備 考
- ・ 限定 60 本での販売となります。
 - ・ 販売予定数に達し次第、販売終了となります。
 - ・ 購入後のキャンセル、返品、交換はお受けいたしかねます。
 - ・ 転売を目的としたご購入はご遠慮ください。
 - ・ 20 歳未満の方には販売いたしません。年齢確認をさせていただく場合がございます。
 - ・ 販売方法および販売条件は、予告なく変更となる場合がございます。
 - ・ 商品の特性上、風味や色合いに個体差が生じる場合があります。
 - ・ お 1 人あたりの購入本数を制限させていただく場合がございます。

よくある質問 (FAQ)

Q. 「4563」とはどのようなウイスキーですか？

A. 「4563」は、富士スピードウェイホテル開業 4 周年を記念して販売するホテルオリジナルウイスキーです。ガイアフロー静岡蒸溜所で蒸留されたシングルモルト原酒を使用し、ホテルのために特別にボトルリングしました。

Q. 「4563」という名前の由来は何ですか？

A. 「4563」は、富士スピードウェイのレーシングコース（本コース）の全長 4,563 メートルに由来しています。サーキットの高揚感と、この土地ならではの物語を象徴する数字として商品名に採用しました。

Q. 「4563」は何本限定ですか？

A. 限定 60 本の販売を予定しています。価格は 1 本あたり 66,000 円 (税込) です。

Q. 「4563」はどのような特徴がありますか？

A. ガイアフロー静岡蒸溜所を象徴する薪直火蒸留機「ポットスティル W」で蒸留されたノンピートタイプのシングルモルト原酒を使用しています。力強いコクと心地よい香ばしさ、複雑で奥行きのある味わいが特徴です。

Q. 「4563」はどこで購入できますか？

A. 富士スピードウェイホテルの TROFEO ラウンジにて販売いたします。詳細については、富士スピードウェイホテル公式ウェブサイト (fujispeedwayhotel.jp) をご確認ください。

「富士スピードウェイホテル」について

ハイアットのブランド「アンバウンド コレクション by Hyatt」の富士スピードウェイホテルは、「モータースポーツとホスピタリティーの融合」をコンセプトにしています。富士山の麓に位置し、国際サーキットである富士スピードウェイに隣接し、レーシングカーのミュージアムが同居していることが特徴です。この「静と動が共存する」唯一無二の環境の中で、モータースポーツ、富士登山、ウェルネス体験などによって生み出される類まれなストーリーを、お客様と共に紡いでいます。



ホテル概要

名称 : 富士スピードウェイホテル (英語表記: Fuji Speedway Hotel)
所在地 : 〒410-1308 静岡県駿東郡小山町大御神 645
客室数 : 120 室 (宿泊棟 115 室・ヴィラ 5 室)
付帯施設 : 料飲施設 4、温泉浴場、スパ、屋内プール、ジム、Ballroom、Meeting Room 他
駐車場 : 262 台
開業日 : 2022 年 10 月 7 日
サイト : 富士スピードウェイホテル fujispeedwayhotel.jp
Instagram [instagram.com/fujispeedwayhotel](https://www.instagram.com/fujispeedwayhotel)
Facebook [facebook.com/fujispeedwayhotel](https://www.facebook.com/fujispeedwayhotel)

「アンバウンド コレクション by Hyatt」について

アンバウンド コレクション by Hyatt は独立したホテルを単に取り揃えたコレクションではなく、語るべきストーリーに彩られた唯一無二のホテルを慎重に「キュレーション」したブランドです。アンバウンド コレクション by Hyatt のホテルは例えば、現代の驚異のような、あるいは歴史の中の宝石のような、それとも活力を与える静養のような、筋書の無い非日常に浸る旅をお届けします。Facebook、Instagram で、@UnboundxHyatt をフォローしてください。ハッシュタグ「#UnboundxHyatt」を付けた写真の投稿もお待ちしております。

以上

※ 本リリース中の「ハイアット」とは、ハイアット ホテルズ コーポレーションおよび（または）その関連会社を指す用語として使用されています。